

令和6年度 公共事業再評価調書

(区分) **国補** ・ 県単

1. 事業説明シート

事業名	公園事業〔国宝重要文化財等保存活用・活用事業費、史跡等購入費（国補）〕		事業箇所	甲府市丸の内一丁目	地区名	舞鶴城公園（甲府城跡）	事業主体	山梨県	
計画期間	当初計画	現計画	④ 特記事項（関連事業概要等）						
	R1～R6	～	変更計画	甲府駅南口駅前広場・平和通り再整備 H25～H30 事業費約3,540百万円					
総事業費	1,500 百万円	— 百万円	R1～R12	⑤ これまでの評価状況（令和元年事前評価）					

(1) 事業の概要

①事業目的及び効果

甲府の中心市街地は活力低下に伴い、空き店舗、空き地等も増えるなど空洞化が進み、周辺市街地との関連性も薄れ、賑わいが失われつつある。

そこで、山梨県・甲府市共同で、平成24年3月に「甲府駅南口周辺地域修景計画」を策定し、甲府城周辺を「歴史と文化へのアプローチゾーン」と位置づけ、甲府市中心市街地の活性化につなげることにした。さらに、平成28年6月の「甲府城周辺地域活性化基本計画」を経て、平成29年12月に策定した「甲府城周辺地域活性化実施計画」により、甲府城南側では、公共施設跡地を活用した施設整備を行うこととした。

本事業は、この計画のもと、歴史的に価値の高い甲府城のお堀、石垣を復元整備し、歴史景観に優れた眺望を確保するとともに、隣接する県庁敷地と一体となった整備により、観光客や県民が集い、憩い、交流でき、多彩なイベントにも対応できる広場空間の構築を図るため、舞鶴城公園を拡張整備するものである。

□主要目標 ○憩い空間の創出

年間利用者数 249,000人/年 > 208,022人/年 ※

30分アクセス可能人口割合 29% > 12%以上 ※ ※評価基準値

□副次目標 ○歩行者等の通行空間の確保

歩行者・自転車の交通量 3,656人台/12h (H27センサス値) > 80台/12h以上 ※

主要駅から距離 0.5km < 概ね1.0km以内 ※ ※評価基準値

□副次効果 ○文化・歴史的資源等の保存・復元（甲府城跡のお堀の復元）等

②事業概要

広場ゾーンの整備[お堀復元を含む]面積＝約8,600m²

③全体計画

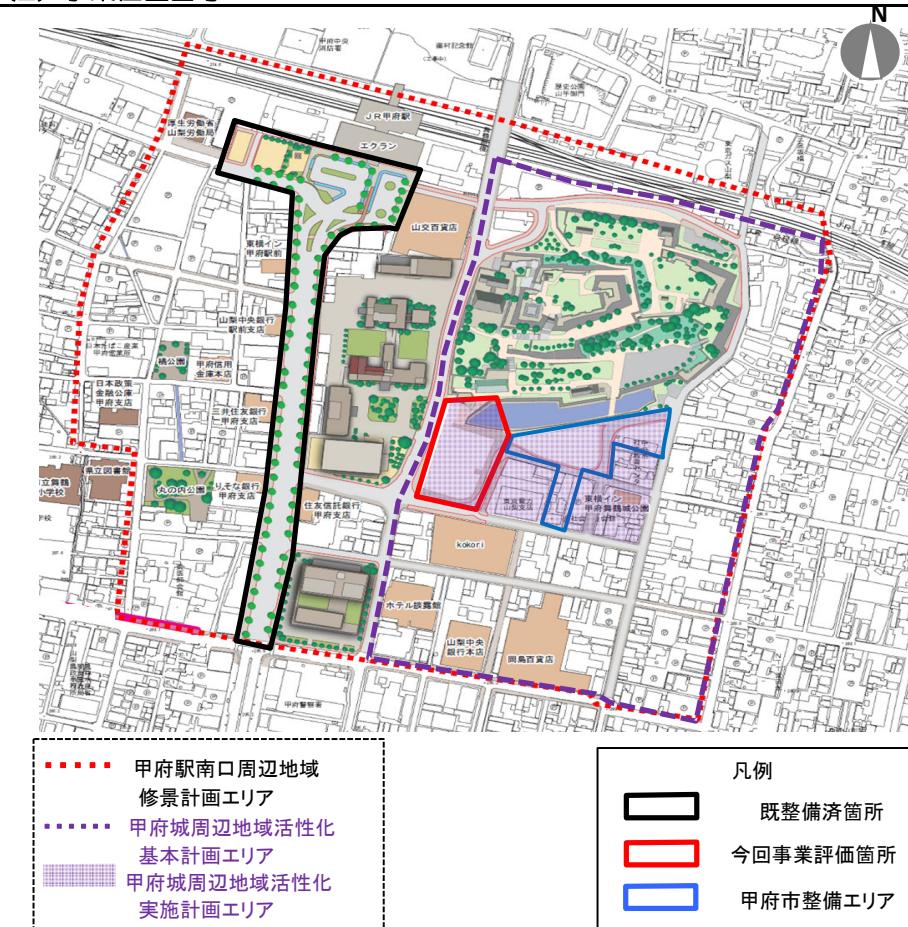
		令和5年度まで	令和6年度 (評価実施年度)	令和7年度以降
現計画	工事内容	地形測量 用地測量・建物調査 用地買収・埋蔵文化財調査 詳細設計・広場ゾーン整備	付帯工事・台帳整備	
	事業費	1,490 百万円	10 百万円	
変更計画	工事内容	地形測量 用地測量・建物調査 用地買収・埋蔵文化財調査	用地買収 埋蔵文化財調査	用地買収 埋蔵文化財調査 詳細設計 広場ゾーン整備 付帯工事・台帳整備
	事業費	688 百万円	150 百万円	662 百万円

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

⑤これまでの評価状況（令和元年事前評価）

本事業は、県市共同で策定した「甲府駅南口周辺地域修景計画」等に基づく甲府市中心市街地の活性化のための整備の一環として舞鶴城公園を拡張整備するものである。本事業により、お堀の一部復元と広場の拡充整備が行われ、これにより、観光客や県民が集い、憩い、交流でき、多彩なイベントにも対応できる広場空間が構築される。また、甲府市が整備する「歴史・文化ゾーン」「飲食・物販ゾーン」と連携し、甲府城南側エリア全体を一体的に整備することにより、地域の魅力を向上させ、中心地市街地の賑わいの創出や回遊ネットワークの充実が期待できることから、事業の必要性は高く、実施は妥当である。

(2) 事業位置図等



2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

なし

②産業・経済情勢

なし

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

- 「甲府駅南口周辺地域修景計画」（平成24年3月策定）
- 「甲府駅南口駅前広場再整備実施計画」（平成25年3月策定）
- 「平和通り再整備実施計画」（平成25年3月策定）
- 「甲府城周辺地域活性化基本計画」（平成28年6月策定）
- 「甲府城周辺地域活性化実施計画」（平成29年12月策定）
- 「史跡甲府城跡 保存活用計画」（令和2年10月）
- 「史跡甲府城跡 整備基本計画」（令和4年3月）
- 「山梨県社会資本整備重点計画―第4次―」（令和4年9月改訂）
- 「山梨県総合計画」（令和5年10月策定）

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点		変更計画時点	
総事業費			百万円		百万円
工期					
経済 効率性	評価基準年				
	費用		百万円		百万円
	建設費		百万円		百万円
	維持管理費		百万円		百万円
	その他(百万円		百万円
	便益		百万円		百万円
			百万円		百万円
			百万円		百万円
	その他※		百万円		百万円
B/C					

既設都市公園の拡張整備であるため、算出不可。

（3）これまでの計画変更等の概要

なし

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率
R6年度進捗率(現計画)100%→(実績)55.8%→(変更計画)55.8%

②進捗率実績が計画と相違している理由
計画期間内での完成に向け事業の進捗を図ったものの、用地取得に時間を要している。
また、本事業地は「史跡甲府城跡」として国の文化財指定地であるため、埋蔵文化財調査を実施した結果、貴重な遺構が確認されたことから更なる調査に時間を要している。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
合計		

④事業期間の変更理由及び進捗予定
用地取得並びに埋蔵文化財調査に不測の日数を要したことにより、事業進捗が遅れているため、事業期間を6年延長する。
また、未取得の用地については、早期の問題解決を図り、必要な文化財調査を速やかに実施する。

⑤今後の事業執行における留意点
用地の早期取得を目指すとともに、事業の整備効果を発現させるため、工事の早期着工を目指す。

(5) 環境負荷等への配慮

本事業は、市街地化された区域を公園としての土地利用に転換するものであり、お堀の復元や広場空間の整備により、雨水の地下浸透やヒートアイランド現象の抑制、水辺空間の拡充など、市街地の環境負荷の低減につながる事が期待される。

(6) コスト縮減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

(8) 所管部の今後の方針 継続 **見直し継続** その他()

(理由)
本事業は、「甲府城周辺地域活性化実施計画」のもと、歴史的に価値が高い甲府城のお堀、石垣を再整備し、歴史景観に優れた眺望の確保と観光客や県民が集い、憩い、交流ができる広場空間を拡張整備することで、にぎわいを創出し、甲府市中心市街地の活性化につながることから事業を継続し、令和12年度の完成を予定している。

〇別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

年度		*R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
現	計画	0.1	24.0	48.5	86.7	99.3	100.0						
	実績	0.2	7.1	31.1	34.2	45.8	55.8						
変更計画							55.8	60.5	69.3	70.7	80.0	90.0	100.0

*事業着手年度又は評価年度
*R6年度の実績は見込み

3.添付資料シート(1)

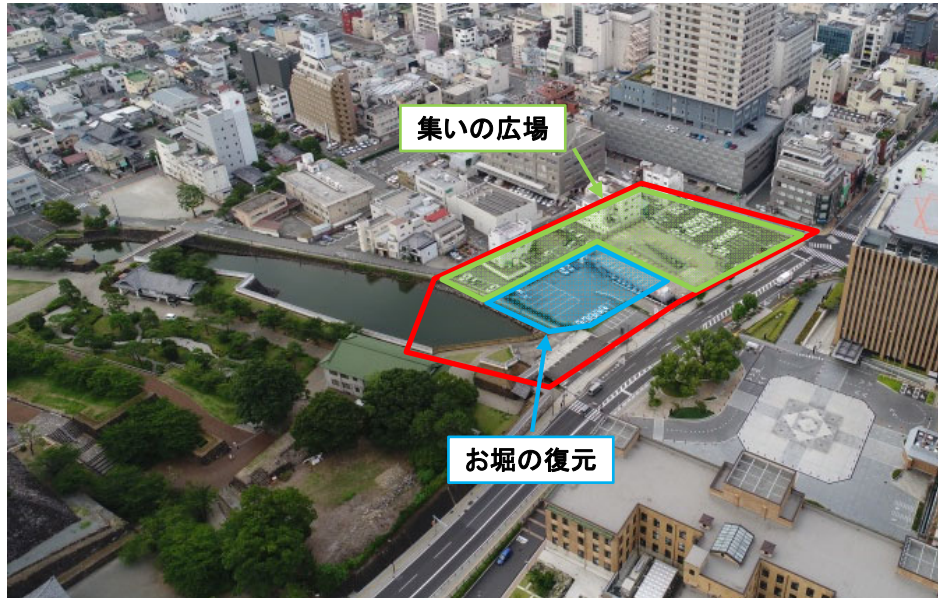


視点①(追手門広場→お堀方向)のイメージパース



視点②(紅梅北通り→集いの広場)のイメージパース

3.添付資料シート(2)



①山梨県事業予定地全体(赤枠内)



②舞鶴通りから東側方向(お堀予定箇所)



③既設の舞鶴城公園からスクランブル交差点方向



④スクランブル交差点付近から既設の舞鶴城公園方向

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
R1	3,400	地形測量	0.2
R2	103,399	用地測量・建物調査・用地買収	7.1
R3	360,092	建物調査・用地買収・埋蔵文化財調査	31.1
R4	46,360	埋蔵文化財調査	34.2
R5	174,475	用地買収	45.8
R6	150,000	用地買収・埋蔵文化財調査	55.8
R7	70,000	用地買収・埋蔵文化財調査	60.5
R8	132,274	用地買収・埋蔵文化財調査	69.3
R9	20,000	詳細設計	70.7
R10	140,000	広場ゾーン整備	80.0
R11	150,000	広場ゾーン整備	90.0
R12	150,000	広場ゾーン整備・附帯工事・台帳整備	100.0
合計	1,500,000		